



ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷、苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくりまします。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が**生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療**で**健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくりまします。

8 **受験戦争**からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

日本はまだ間に合う。



かめい ちはる

参政党公認

令和八年
二月八日執行年

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

(徳島県第一区)

徳島県選挙管理委員会

比例は参政党

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



かめいちはる プロフィール 昭和51年生まれ美馬市出身。岩倉小学校、岩倉中学校、徳島県立美馬商業高等学校卒業。現在は有限会社 亀吉製麺 役員、参政党 徳島県支部連合会 副会長、参政党 徳島第2支部 支部長。一人の国民として、母親としての違和感を国政に届けたいと思い、参政党から立候補。

徳島に暮らす一人ひとりを、後回しにしない政治へ。

1 「物価高対策の先送り」から
「食料品消費税ゼロパーセント」に
変えていく

2 「形だけの多様性社会」から
「差別を自覚し減らしていく社会」に
変えていく

3 「格差を広げる経済政策」から
「収入が増える経済」に変えていく

比例は
中道へ



中道改革連合
Centrist Reform Alliance

生活
最優先!

4 「他国との緊張をあおる政権」から
「知恵で平和をつくる外交」に
変えていく

5 「裏金をうやむやにする政治」から
「クリーンで信頼のある政治」に
変えていく

6 「防衛予算を最優先する国」から
「教育予算を優先する国」に
変えていく ※文科科学委員

7 「国家が主導する地方創生」から
「地域住民が中心となった街づくり」に
変えていく ※総務委員

高橋 えい

……プロフィール……

サラリーマンとして妻と共働きで娘を育ててきた一児の父親。徳島に移り住み、徳島大学で政治学や日本国憲法、公共政策を学び、政治を志すことを決意。休日に娘とアニメを見るのが楽しみ。当選以来約一年で、徳島での街頭活動はかちどき橋などで200回以上。国会では、文科科学委員会と総務委員会で活動。子どもの教育予算を増やすこと、日本の科学技術の発展、そして徳島を含む地方創生に取り組んできた。

徳島県から参議院議員を務めた高橋紀世子は母。

1975 紀世子の次男として誕生

2000 神戸大学卒業

2000 広告会社・博報堂に入社

約22年間営業として勤務

2022 徳島大学科目等履修生

2024 衆議院選挙で初当選



公式サイト



X (旧Twitter)



facebook

元総理・三木武夫のクリーンな政治を受け継ぐ

前衆議院議員



高橋 えい

たかはし

衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日

2月8日(日)

投票時間は、午前7時から午後8時までです

(投票所によっては投票時間の異なるところがありますので御注意ください)



◎小選挙区選挙は
投票用紙に**候補者名**を！

◎比例代表選挙は
投票用紙に**政党名**を！

○投票日当日、仕事や旅行などのために
投票所に行けない方は、**期日前投票**ができます。

○子どもと一緒に選挙に行こう！
18歳未満の子どもも、選挙人に同伴して
投票所に入場できます。

徳島県選挙管理委員会

01 国を守る

- 世界平和のリーダー国として紛争が起きない状況をつくる。
- 安全保障関連3文書改定を前倒し、抑止力も含めた安全保障を強化する。
- 南海トラフ大地震も想定される徳島で国土強靱化をさらに進める。
- サイバーセキュリティを強化し、デジタル基盤の情報化社会を構築する。

02 徳島、地方の経済対策

- 食料品等の必需品について消費税ゼロを実施する。
- ゼロゼロ融資の一時的返済猶予、事業承継の優遇税制、下請法の改正等で、賃上げなど中小企業を支援する。
- 経済安全保障上のサプライチェーンの国内回帰で、地方に雇用をつくる。
- 道路整備や情報通信インフラを充実し、雇用創出と若者の定住化を図る。

03 情報セキュリティの担保される行政のデジタル化

- 年金、医療、介護におけるデジタル化を推進し、支払う年金保険料や受給開始年齢から受取額を国民が算出できるようにする。
- 自分の健康状態（検査結果等）を時系列に把握し、予防医学に活用できる体制を整備する。多くの患者の診療履歴をデータ化し、新薬開発に繋げ、国民が先端医療を受けられるようにする。
- 予防接種や母子健康手帳のデジタル化で子どもの予防接種計画等、周産期や小児医療にも役立てる。

徳島から日本を変える!

にし ひろぶみ
仁木博文
プロフィール

04 徳島の農業、漁業、林業を再生する。

- 土地の集約やスマート農業を推進し、儲かる農業、ハイテク農業を進める。竹、シイタケの菌床をはじめ、養鶏の鶏糞等を堆肥や肥料にした有機農業で、美味しく安全な農産物のブランド化を推進。
- 育てる漁業や海洋環境税の導入（ブルーカーボン）にて藻場や鳴門のワカメに税が配分されるようにし、儲かる漁業を創る。

05 教育予算を1.5倍にし、人材育成を強化する。

- 日本近代史・日本人の歩みをしっかりと教え、環境教育、多様性が受容される教育、自分で未来をつくる教育を進める。英語教育を一層推進する。
- 学校給食の無償化、大学の授業料を無償化する。
- 国立大学への運営交付金や科研費、私学助成金を増額する。

06 徳島の医療と介護を守る。

- 病院や介護事業が昨今の物価高でも経営できるよう報酬改定を実施し、東京と徳島が連携して医療人材を確保する。
- 災害時に強い免震構造の病院建築の推進、医療Dxの推進、患者が主役の医療をつくる。

厚生労働副大臣、衆議院議員、医師 医学博士 産婦人科専門医
高市内閣にて「攻めの予防医療に向けた性差に由来するヘルスケアに関する副大臣等会議」の副議長を務める。

1966年 阿南市宝田町に生まれる
阿南市立宝田小学校卒業
徳島大学教育学部附属中学校卒業
徳島市立高校理科数科卒業
東京大学教養学部卒業
徳島大学医学部・大学院卒業
2009年 衆議院議員初当選
医学博士取得 仁木訪問診療クリニック開業
2021年 第49回衆議院議員選挙 二期目当選
2024年 第50回衆議院議員選挙 三期目当選

- 主な役職履歴
自由民主党 厚生労働部会 副部会長
自由民主党 デジタル社会推進本部 事務局次長
自由民主党 女性の生涯の健康に関するPT事務局次長
- 主な政策実績
2012年 消費者教育の推進に関する法律案成立
2011年 子宮頸がんワクチン（HPV）の公費助成の導入

にし ひろぶみ
仁木博文



衆議院議員候補
自民党公認

にし
ひろぶみ

にし
ひろぶみ



仁木博文

令和八年
二月八日執行年

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報
(徳島県第一区)

徳島県選挙管理委員会



誰ひとり取り残さない社会のため、愛をとどける政治を。

私の政治家としての原点は「誰ひとり取り残さない社会をつくりたい」という想いです。それが10年前に政治を志した理由であり、今も変わらぬ覚悟です。誰もが安心してその人らしく生きられる世の中を創り上げていく。徳島に、そして日本に愛をとどけるために全力を尽くす所存です。

1975年(昭和50年)2月23日生まれ。兵庫県神戸市垂水区で生まれ育つ。吉田家は祖父母の代まで徳島県在住。松蔭女子学院中学校・高等学校(現松蔭中学校・高等学校)卒業。1995年 神戸松蔭女子学院短期大学卒業(現在は松蔭大学のみ)。トヨタグループ輸送機器メーカー、損害保険会社等に勤務。2016年4月 篠山市議会(現在の丹波篠山市議会)議員選挙に初当選。2020年4月 丹波篠山市議会議員選挙に2期目当選。2021年10月 第49回衆議院議員選挙に徳島1区で出馬、四国比例で初当選。日本維新の会元厚生労働部会長。日本維新の会 日越友好議員連盟元幹事長。2025年1月 日本維新の会 衆議院徳島県第1選挙区支部長就任。

- 孤独・孤立対策
- 医療・介護を中心とした社会保障の充実
- 物価高対策
- 教育への投資
- 地方創生

- ひとりにしないための愛
- 安心して生きるための愛
- 暮らしを守るための愛
- 未来を閉ざさないための愛
- 地域を守り続けるための愛

私たちも応援しています! 日本維新の会 代表 吉村洋文 比例は維新へ!



吉田知代

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査

投票日

2月8日(日)

投票時間は、午前7時から午後8時までです

(投票所によっては投票時間の異なるところがありますので御注意ください)

徳島県選挙管理委員会



- ◎小選挙区選挙は
投票用紙に候補者名を!
- ◎比例代表選挙は
投票用紙に政党名を!

- 投票日当日、仕事や旅行などのために投票所に行けない方は、期日前投票ができます。
- 子どもと一緒に選挙に行こう!
18歳未満の子どもも、選挙人に同伴して投票所に入場できます。